

SR-S348TC1 V14.03 変更内容一覧

□機能追加

No.	項目	内容
1	マルチログイン機能	複数ユーザが同時に本装置にログイン可能としました。 同時にログイン可能なセッション種別とセッション数は以下の通りです。 ・コンソール(1セッションのみ) ・Telnet(最大5セッションまで) ・SSHまたはSFTP(1セッションのみ、但しFTPとSFTPの同時接続は不可) ・HTTPまたはHTTPS(最大5セッションまで) ・FTP(1セッションのみ、但しFTPとSFTPの同時接続は不可)
2	時刻情報提供サーバ数拡張	時刻情報提供サーバの設定最大数を1から4に拡張しました。 複数のサーバが指定された場合、定義番号の小さいサーバから優先的に時刻問い合わせを実施します。また、前回取得できたサーバを最優先に問い合わせします。
3	Syslogサーバ数拡張	Syslogサーバの設定最大数を3から4に拡張しました。
4	SNMPマネージャー数拡張	SNMPマネージャーの設定最大数を8から16に拡張しました。
5	Trap機能改善	ループ検出機能およびストーム制御機能において、障害復旧時のトラップ送信処理(Status=normalで通知)を追加しました。

□修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V14.00～V14.02	MLAG機能の設定が追加/変更となる構成定義情報をFTPや外部メディアから復元し装置を再起動すると、MLAG状態がActive状態にならない場合がある。
2	V14.00～V14.02	MLAG機能を構成する装置間のMACアドレス学習状態が不一致となるような通信経路をとる場合に、ユニキャストフレームを同一VLAN内にフラッディングし続ける場合がある。
3	V14.00～V14.02	MLAG機能利用時、装置内でMACアドレス学習テーブルが正しく同期できず、本来フラッディングされないはずの学習済みのMACアドレスに対するユニキャスト通信が不要にフラッディングされる場合がある。
4	V14.00～V14.02	Web認証にて129文字以上のURLを入力し認証するとシステムダウンが発生する場合がある。
5	V13.00～V14.02	ミラーリング設定を削除してもポート種別が通常ポートに戻らない場合がある。
6	V12.05～V14.02	pingコマンドが完了しなくなることがある。
7	V14.00～V14.02	IEEE802.1X、Web認証またはMACアドレス認証機能が、43ポートまでしか動作できない場合がある。
8	V13.00～V14.02	無線LAN管理機能にて情報取得中に、装置が無応答または再起動することがある。
9	V13.00～V14.02	nodemanager定義が有効な状態でtech-suuportコマンド実行中にCtl-Cにて表示を中断すると、装置が無応答状態となることがある。
10	V12.05～V14.02	毎日1回実行するスケジュールコマンド設定時、スケジュールコマンドが実行しないことがある。(具体的には隔日で実施される)